



東口ビルファサード

J R 下 関 駅

下関の玄関口にふさわしい賑わいの創出とサービス向上で「地域共生」の実現を計る。

「玄関口としてのシンボル性」「街が持つ地域性」「中心としての集客施設が持つ賑わい」の3つをコンセプトに、長年親しまれてきた旧駅舎の三角屋根をデザインシンボルに取り入れたという駅ビル。外壁は特注タイルパネルを中心に、周囲に溶け込む優しく落ち着いた色調と直線的なデザインで構成され、モダンな表情を醸し出しています。

DATA

- 施主：西日本旅客鉄道株式会社
ジェイアール西日本不動産開発株式会社
- 設計：ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社
- 施工：広成建設株式会社
- 竣工：2014年3月
- 所在地：山口県下関市竹崎町4-3-1

商品情報

- 外装壁タイル(駅舎)：BRKN-225/18B
- 外装床タイル(駅コンコース)：WJR-300/3,16,8
- 外装壁タイル(駅ビル)：二丁掛タイル特注品
(アスロックタイルパネル)
*FAB-2Y/OM3895-63, 68
*FC-2/OM3895-30, 31, 68
*FC-2/OM-3895-57:58=60%:40%
- 外装床タイル(東口駅前広場)：PI-100NET/5
視覚障がい者用床タイル



駅ビル外観全景

掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。(許可なく転載・流用した場合、損害賠償が発生します。)

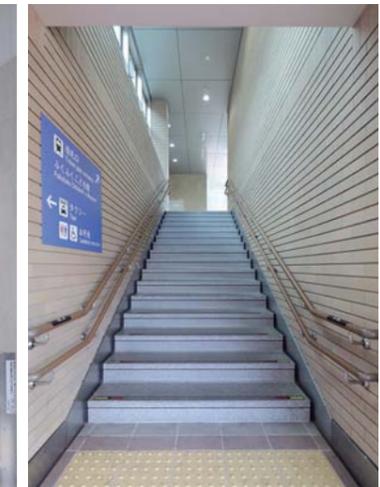
外観・内観



西口外観



1F-中2Fエスカレーター一部



西口1F-中2F階段部

内観



中2階改札前コンコース



中2階コンコース自由通路

内観・ディテール



駅ビル1Fエレベーターホール



駅ビル外装壁タイルディテール



コンコース内装床タイルディテール